

事業所名：グループホームあざみ苑

作成日：令和7年5月28日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先 順位	項目 番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	校区の小学校・中学校・看護科のある高校との交流を再実現させたい。また、出張認知症カフェの定期的な開催を実現していきたい	日々の地域との交流の中で、「地域の安心の灯台」となりたい。	令和7年6月以降、同校区の認知症デイサービス事業所と共同で、各学校責任者へあいさつに行き、福祉体験授業の受け入れ先として登録して頂く様予定している。認知症カフェについては、舞松原・若宮校区で発足した「綾の会」の活動に積極的に参加しながら、輪を広めたい。	12 ヶ月
2	28	アセスメントの充実化(ケアプランへの確実な紐づけ)	利用者様一人一人の日々のアセスメントを、強化し、職員全員が共有しながら、充実したケアプラン作成に繋げている。	ケアマネ・計画作成担当者を中心に令和7年6月より各利用者様に担当職員を配置し、日々の生活の中から発見される、変化などを共有しながら充実したケアプランに紐づけしていく	12 ヶ月
3	35	ターミナルケア研修及び、ターミナルケア後のグリーフケアの実地を実現していきたい	グリーフケアの実地・ターミナルケア研修の実地	令和7年4月28日の全体定例カンファレンスにて「看取り研修を実施」今後も定期的に開催する予定。また、現段階で看取り候補の利用者様が2名おられるため、日々のケアの統一と、看取り後のグリーフケア実地を行っていく	適宜 ヶ月
4	51	利用者様と、気軽に外出する機会を、たくさん、設けたい	当事業所は、商店街の一角にある特徴があり、目の前には福岡市中心部へ直行するバス停もある。様々な地域の資源を活用しながら、利用者様に日々の暮らしの中に楽しみを提供したい。	1か月の外出計画を立て、利用者様の体調に合わせて実行していきたい。(外食・買い物など)	12 ヶ月
5					ヶ月